

編集後記

いまもっとも人気の高い趣味はおそらくくるまと音楽である。年齢が若くなるほどこの傾向は顕著であろう。

ところでこのくるまと音楽には共通するものがある。いずれも外界と遮断された自分だけの世界をつくることである。くるまについてはいうまでもなく、たとえば「自動車は人目を避けるための道具であり、また人に聞かれずに言い争いをするための密室であった」というある小説の一部を引用するだけで十分である。

音楽。戦後急速に音楽が普及した日本では、ヨーロッパのような伝統あるいはストック（ここでは音楽会場等）の不足から、ステレオによる音楽鑑賞が断然多い。これがまたその趣味の特性から外界との接触を断ち自分だけの世界をつくる。ごく最近巷で見うけるようになったウォークマンなるものはその典型ともいえよう。

一方、現在の若者は社会の動きにひどく無関心であるといわれる。上述の趣味も社会への無関心も、戦後の高度経済成長が深くかかわっているのであろうが、そこまでは言及できない。ただ、多くの若者がもっているこうした趣味が上述のような性格から彼らの社会への無関心をも助長しているのではないか、と推論してみたいのである。無理であろうか。

さて、本号も何とか3月20日に間に合うことができた。執筆者の皆さんに感謝致します。本号のばあい、遅くもこの日に間に合わせなければならぬぎりぎりの線があり、それだけ原稿の督促も厳しくならざるをえなかった。御了承いただきたい。

(H. T.)